

陣馬・相模湖方面の自然公園情報

日付：令和4年1月26日（水）

コース：林道交点－明王峠－底沢峠－底沢バス停

天気：晴れ

気温：5度（12時頃、明王峠にて）

外出が難しい方も多い社会状況ですが、パークレンジャーの活動情報を見てお楽しみください。

<登山道情報>

- 明王峠には不動明王尊があります。近くの堂所山は、武田信玄と北条氏との合戦の時に、鐘によって敵の存在を知らせる為の鐘つき堂跡があったことが名前の由来とされ、武田側が明王峠で不動尊を祀り武運を祈願したとの言伝えがあるそうです。



明王峠の様子



不動明王尊

- 霜柱が土壌を持ち上げている様子が見られました。
登山道の丸太階段等を固定する為の鉄杭も、冬季は土壌の凍結により上へ押し上げられ、突出が目立つようになります。
巡視時には、このような突出した鉄杭の打ち直し作業も行っています。



土を持ち上げた霜柱



突出した鉄杭



打ち直し作業後

<自然情報>

- 一見枯れたように見える植物も、冬芽の中で寒さに耐えながら春を待っています。今回は、爪楊枝の原料となるクロモジの木とその冬芽をよく見かけました。中央の尖った芽が後に葉となる葉芽、両脇の丸い芽が花になる花芽です。



クロモジの冬芽



一足早く展開し始めた葉芽

- コウヤボウキのそう果とガク。どちらも花のような可愛さがあり、冬枯れの山で目を引きます。



ほんのりピンク色のそう果



そう果が散った後のガク